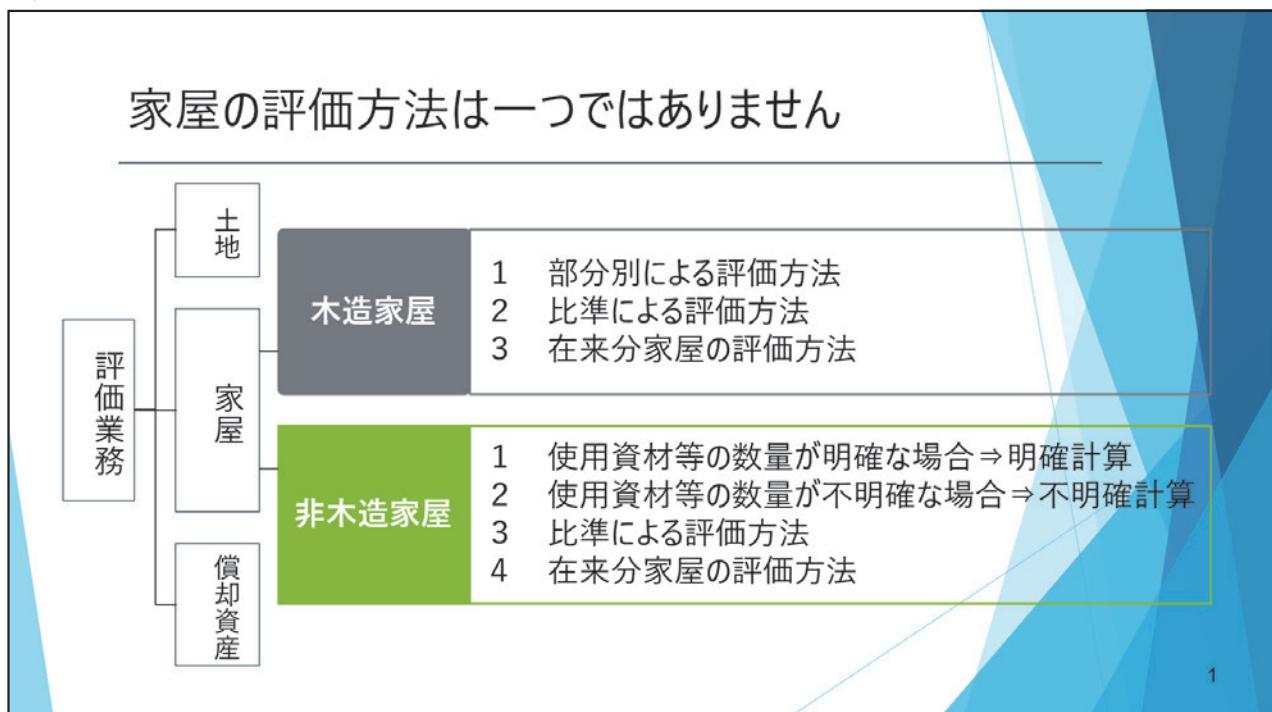
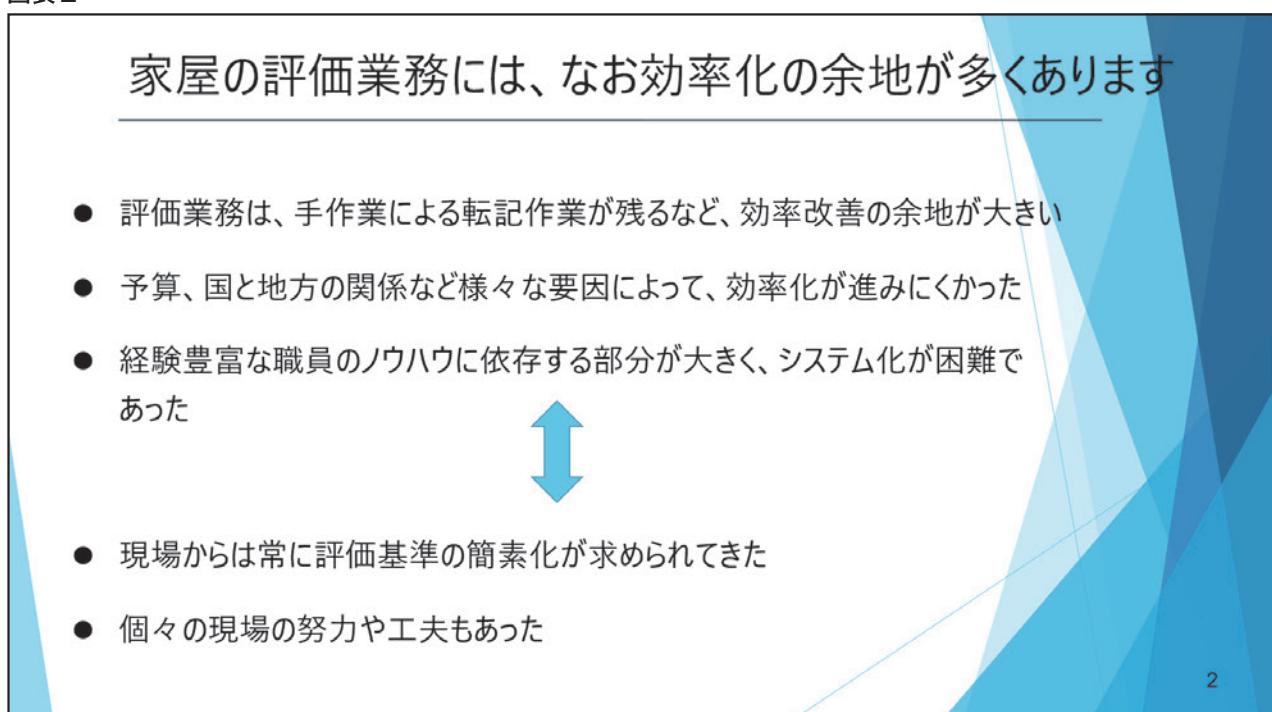


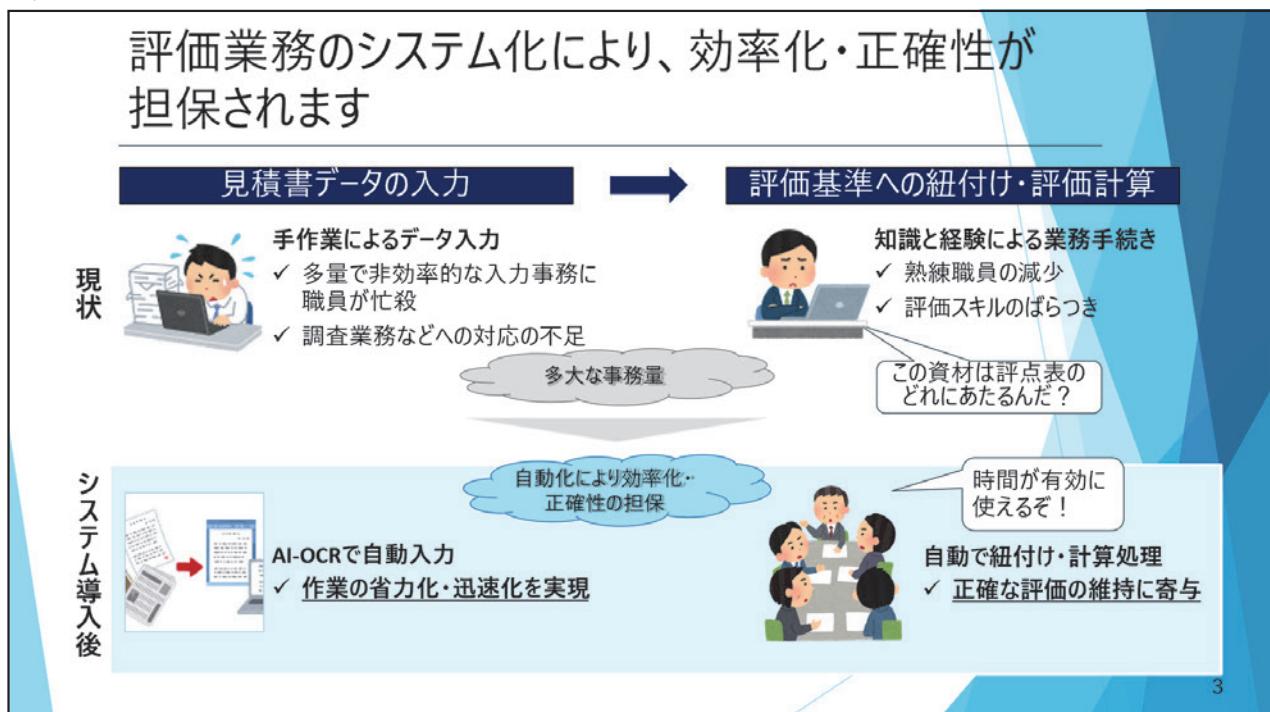
図表 1



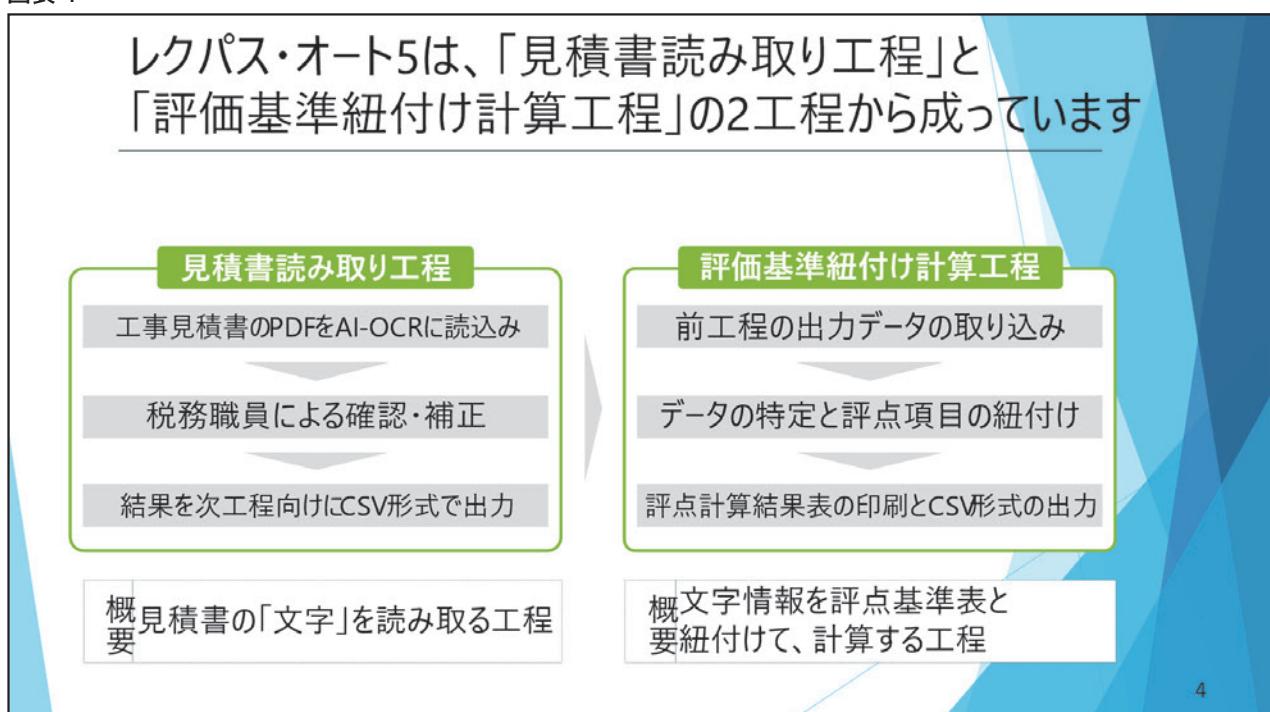
図表 2



図表3



図表4



図表5

『レクパス・オート5（LGWAN,AI-OCR）』の特徴	
① 見積書の自動文字データ化	AI-OCRにより、95%以上の精度で見積書を読み取り
② 評点付設資材の自動判別	名称や単位を認識し、評点付設が必要な資材を自動で判別
③ 建築資材データベースとの自動照合	建築資材データベースと自動で照合を行い、紐付けることが可能
④ 建具表計算書の自動作成	複合建具・ガラス加算画面にも対応
⑤ キーワード検索の自動表示	評価基準解説などを内蔵しており、まとめて検索が可能

※いずれの自動化機能も、100%の精度を保証できるものではありません

5

図表6

重要度の高い主たる業務への注力が可能となります	
● 将来に渡って評価業務の質を維持するためには、抜本的な対策が必要です	

- 将来に渡って評価業務の質を維持するためには、抜本的な対策が必要です
- 担当者の業務の負担を軽減し、皆様が抱える人手・経験不足の解消に資することが本システムの直接的な開発目的です
- 特に複雑で時間がかかる非木造家屋の明確計算を対象としていますので、システム開発の効果が顕著に期待できると考えています
- 本システムの導入により、職員の皆様には、納税者対応やスキルの習得など、「人」にしかできない主たる業務に集中して取り組む余裕が生まれます

6

図表7

## 利用する際の料金の方針と評価センターの経費負担

- AI-OCR（見積書読み取り工程）で生じるライセンス料金を除き、本システムは無償で提供する方針です
- ベンダーに支払うライセンス料金のみ、従量制でご負担をお願いします  
※1枚あたり45円です（=年間約3,333枚利用した場合、約15万円）
- 今年度のライセンス料金は評価センターが負担しますので、令和5年3月まで利用しても無料です
- システム開発の経費（約7,000万円）や今後毎年度発生する経常経費（システムの維持管理経費や3年ごとの評価基準の改正に対応するなどのバージョンアップ経費など）は、評価センターが負担します

7

図表8

## 現時点では対応できない課題も残されています

- レクパス・オート5では対応できないが、今後改善に取り組むもの
  - ✓ 図面に基づいた情報読み取り
  - ✓ 補正判別を要するケースなど、イレギュラーな評点計算
- これらの課題は、レクパス・オート5をご利用いただいた皆様の要望を踏まえながら、今後取り組むつもりです

（参考）今後も、レクパス・オート5では対応できること

- ✓ 精度100%の読み取り など

8